

# 利府町国民健康保険第3期データヘルス計画 及び第4期特定健康診査等実施計画 (概要版)

## 01 策定にあたり

医療の高度化や被保険者の高齢化による医療費の増大は、国民健康保険事業を運営していくうえで大きな負担となっており、財政の硬直化が顕著になっております。

このため、町では医療機関等の受診状況や特定健康診査の結果などをもとに被保険者の疾病状況や課題を分析し、分析結果に基づく効果的な保健事業や重症化予防事業を実施するための計画を策定しました。

### ■ 計画の位置付け

データヘルス計画の策定に当たっては、健康増進法に基づく「基本的な方針」を踏まえ、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」等を基本的な方向とするとともに、上位計画である「第2次はつらつ健康利府プラン」や関連する他計画(高齢者福祉計画、介護保険事業計画、国民健康保険運営方針等)と整合性のとれた内容とします。



### ■ 計画期間

計画期間は、関係する計画との整合性を踏まえ、令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

### ■ 町の現状及び分析結果

#### 1 被保険者に多い疾病と高額な疾病（中分類）

	医療費の総額が高い疾病	患者数の多い疾病	患者一人当たりの医療費が高い疾病
1位	その他の悪性新生物（腫瘍）	高血圧性疾患	白血病
2位	腎不全	糖尿病	腎不全
3位	その他の心疾患	白内障などの屈折及び調節の障害	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群

## 2 医療費が50万円以上の診療報酬明細書の件数

1件当たりの総医療費が50万円以上の割合は全体の0.9%ですが、その医療費は全体の39.5%を占めます。

	要因となる疾病（医療費の多い順）
1位	前立腺がん、腎臓がん、卵巣がんなどの悪性新生物
2位	腎不全
3位	肺がん、上葉肺がんなどの気管、気管支及び肺の悪性新生物
4位	発作性心房細動、持続性心房細動などの心疾患
5位	誤嚥性肺炎、呼吸不全などの呼吸器系の疾患
6位	S状結腸がん、上行結腸がんなどの結腸の悪性新生物

## 3 重複受診（実人数）

### （1）重複受診者 52人

1か月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している方

### （2）頻回（ひんかい）受診者 50人

1か月間で同一医療機関に12回以上受診している方

### （3）重複服薬者 121人

1か月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える方



## ■ 分析結果からわかること

- 1 上位に位置する疾病の中に生活習慣病やそれらが重症化した疾病が多く含まれている。
- 2 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在する。
- 3 生活習慣病の治療中断や健診異常値を放置している方が多数おり、結果的に病状が重症化している。

## 02 分析結果からみる今後取り組むべき保健事業

医療費や健診結果等の分析結果に基づき、国民健康保険被保険者の健康状態を改善し、かつ、医療費の削減効果が高いと思われる次の事業を今後取り組むべき保健事業としました。



事業名	目的	目標値
1 特定健康診査受診勧奨・特定保健指導実施率向上事業	特定健康診査や特定保健指導の受診率を向上させることにより、生活習慣病の発症や重症化予防	特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率 60%
2 生活習慣病の一次予防に重点を置いた取組（早期介入保健指導事業）	若い世代への生活習慣病の予防	受診率60%
3 糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病重症化の予防	指導完了者の新規人工透析患者 0人
4 受診行動適正化事業	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少、ポリファーマシー抑止	受診行動適正化率 80%
5 健診異常値放置者受診勧奨事業	特定健康診査の健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	医療機関受診率 10%
6 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	生活習慣病治療中断者の重症化予防	医療機関受診率 40%
7 ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	ジェネリック医薬品普及率 83%

事業名	目的	目標値
8 脳梗塞の発症予防・再発予防事業	脳梗塞の発症及び再発を予防する	医療機関受診率45%
9 COPD早期発見を目的とする啓発事業	COPDの啓発及び早期発見	医療機関受診率3%
10 骨粗鬆症治療中断者受診勧奨事業（新規事業）	骨折が原因で介護に移行する人を予防する	医療機関受診率10%
11 胃がん検診受診勧奨事業（新規事業）	胃がん検診の受診率向上	検診受診率70%
12 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（新規事業）	通いの場を利用してフレイル予防を実施する	通いの場への参加率8%

## ■ 保健事業実施後の検証

保健事業の実施後は、PDCAサイクルに基づき各事業を検証し、検証結果を次年度以降の事業や次期計画に反映させることで事業効果がさらに高まるように努めます。



### 「P」(Plan)=計画策定

診療報酬明細書や健診情報などを分析し、本町固有の課題や特性等を見出す。課題や特性に即した保健事業等について、費用対効果等を考慮したうえで選定した。

### 「D」(Do)=計画の実行

データヘルス計画に基づき、各保健事業を実施する。

### 「C」(Check)=効果の分析、見直し

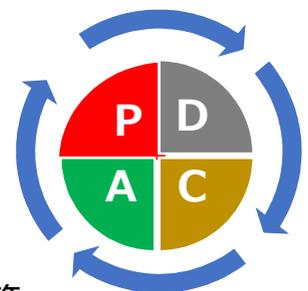
実施した保健事業について、検証を行う。

①費用対効果の検証

②計画時に想定した目標値との比較や分析

### 「A」(Action)=改善

見直し結果等を踏まえ、改善計画や新たな保健事業等を検討する。



#### 【お問い合わせ】

利府町 町民課 国保年金係

電話 022-767-2340

FAX 022-767-2104

メール kokuho@rifu-cho.com